



2024年5月13日

各位

会社名 株式会社JFLAホールディングス
代表者名 代表取締役社長 檜垣 周作
(コード番号: 3069 STANDARD)
問合せ先 法務総務部長 尾崎 富彦
(TEL. 03 - 6311 - 8892)

通期連結業績予想と実績との差異、特別利益・特別損失の計上及び 剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

当社は、2023年8月10日に公表しました2024年3月期連結業績予想値と本日発表の実績値との間に下記のとおり差異が生じるとともに、当第4四半期会計期間（2024年1月1日～2024年3月31日）における特別利益及び特別損失を計上しましたので、お知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、2024年3月31日を基準日とする剰余金の配当を無配とすることを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年3月期 通期連結業績予想と実績値の差異(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	60,000	150	—	—	—
実績値 (B)	67,902	814	366	△618	△12円97銭
増減額 (B-A)	7,902	664	—	—	—
増減率 (%)	13.2	443.1	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	76,713	△400	△750	△2,197	△47円59銭

(1) 差異の理由

生産事業において、値上げや採算性を重視した販売が奏功したこと等により売上高67,902百万円、営業利益814百万円、経常利益366百万円となりました。

また、特別利益で2,779百万円(うち関係会社株式売却益2,722百万円)、特別損失で3,481百万円(うち事業構造改善費用3,046百万円、関係会社株式売却損234百万円)発生したこと等により、親会社株主に帰属する当期純損失は618百万円となりました。

2. 特別利益及び特別損失について

(1) 特別利益

・関係会社株式売却益

当社子会社である株式会社アスサポートが保有する株式会社十徳の全株式を、MBOにより同社代表取締役の三浦孝幸氏へ譲渡したことに伴い、当連結会計年度において、関係会社株式売却益 2,508 百万円を計上いたしました。

(2) 特別損失

・事業構造改善費用

2023年9月に策定・公表した事業再生計画に基づき、不採算子会社の整理などの構造改革を進めた結果、当連結会計年度において、債権放棄等を含む事業構造改善費用 3,046 百万円を計上いたしました。

3. 剰余金の配当の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (2023年3月期)
基準日	2024年3月31日	同左	2023年3月31日
1株あたり配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金の総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

(1) 理由

当社の配当に関する基本方針は、業績の状況により内部留保とのバランスを考慮しつつ、安定的な配当を実施することとしております。当社グループでは、事業再生計画の着実な実行により経営基盤の改善を進めておりますが、為替相場を背景にしたインバウンド需要の拡大、持続的な賃上げや雇用情勢の改善を背景に、経済環境の緩やかな回復が続くものと期待される一方、地政学リスクに起因する供給不足や価格上昇、円安による物価上昇に伴い、消費者の生活防衛意識の高まりが懸念され、先行きは依然として不透明な状況であり、今後の事業環境や財務状況等を勘案した結果、現時点においては財務体質基盤の強化を図ることが最重要であると考えております。

このような状況を鑑みまして、当期の期末配当につきましては無配とさせていただくことといたしました。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、早期の収益回復及び財務体質の改善に努めてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上